

愛についての考察

真紀

愛は原動力となると思った事に関して考察してみたい。

自分だけの為に生きることって
できるだろうか？

たとえ、家族をもたずに
一人っきりであっても、
暮らしていく以上

誰かのために、心遣いを必ずしているから
自分だけのためって逆にできない気がする

まして

家族がいて、友人がいて、職場があって
そこでは

各々、自分のためじゃなく
誰かのために、やっていることが多いはず。

家族のため、職場の相手のため
友人のため
日常でも
誰かの為にしていることが多い

愛が原動力になるのはなぜだろう？

まるで、熱源のよう
エネルギーとしてみたら
この熱源がないと
回っていかないから

機械を動かすにも電気がいるように
車にエンジンがあるように
動かしていくのが愛の熱源

愛のチャクラ

ハートセンター

が心臓と近く、心臓とも関係があるのは
意味があるはず

心臓が体のすみずみに血液を送るように
熱源をすべてに送って
体が機能していくように

ハートチャクラが真に開いてこそ
各チャクラが開く
と
愛の使者にもある。

だから

愛がないと

まわっていかない

愛だけが

動かしていける
ことなのだと思う

愛とかハートは熱源だから
赤で表すことが多いのだと思う。

はじまりは愛だし
愛じゃないと
何も始まらない

それもこれも
愛の子だから
愛なくして
機能できないのが
私達ということに、いきついてしまった。